

事業者温室効果ガス削減報告書概要(第一計画期間) 第3年度分

1 事業所の概要

事業者の名称	ユナイテッド・アーバン投資法人		
事業所の名称	SS30		
事業所の所在地	宮城県仙台市青葉区中央4-6-1		
主たる事業	金融商品取引業、商品先物取引業		
事業者の該当要件	<input type="radio"/>	条例第2条第5号イに該当する特定事業者	
	<input type="radio"/>	条例第2条第5号ロに該当する特定事業者	
	<input type="radio"/>	条例第2条第5号ハに該当する特定事業者	
	<input type="radio"/>	条例第15条第1項に該当する一般事業者	
温室効果ガス排出抑制のための基本方針	【基本方針】 1.環境負荷の低減を意識した事業活動を行い、環境の保全に努めます。 2.環境保全に関連する法規制を遵守します。		

2 温室効果ガスの排出状況等

温室効果ガスの削減目標	基準年度	2019 年度	基準排出量	5,561 t-CO ₂	基準原単位	0.06697	
		目標年度	2022 年度	目標排出量	5,397 t-CO ₂	目標原単位	0.064998
			削減率	2.94 %	削減率	2.94 %	
温室効果ガスの排出状況	第1年度	2020 年度	排出量	5,292 t-CO ₂	排出原単位	0.06373	
			削減率	4.83 %	削減率	4.83 %	
			排出量等の増減理由	貸室・共用部(附室・非常階)蛍光灯照明を、順次LED照明に更新を実施によりCO2排出量を削減。 第1年度は新型コロナウイルスによる、テナント営業規模縮小の影響が大きい。			
	第2年度	2021 年度	排出量	5,213 t-CO ₂	排出原単位	0.06278	
			削減率	6.25 %	削減率	6.25 %	
			排出量等の増減理由	貸室・共用部(附室・非常階)蛍光灯照明を、順次LED照明に更新を実施によりCO2排出量を削減。 第2年度は第1年度に引続き、新型コロナウイルスによる、テナント営業規模縮小の影響が大きい。			
	第3年度	2022 年度	排出量	4,874 t-CO ₂	排出原単位	0.0587	
			削減率	12.35 %	削減率	12.34 %	
			排出量等の増減理由	貸室・共用部(附室・非常階)蛍光灯照明を、順次LED照明に更新を実施によりCO2排出量を削減。 第3年度は第1・2年度に引続き、新型コロナウイルスによる、テナント営業規模縮小の影響が大きい。			

3 温室効果ガスの排出抑制に関する取組

基本対策の実施状況	基準年度	96 %	目標年度	100 %
	第1年度	96 %	実施状況の説明等	削減計画書の目標設定を基に、取組を推進。
	第2年度	96 %	実施状況の説明等	削減計画書の目標設定を基に、取組を推進。
	第3年度	96 %	実施状況の説明等	削減計画書の目標設定を基に、取組を推進。

様式第2号別紙1

選択対策の実施状況	項目		実施状況
	エネルギー使用量の見える化(前年度比較)		実施済
	エネルギー使用量の見える化(分計による課題発見)		実施済
	ボイラーの給水及びブローの管理		実施済
	蒸気トラップの管理		実施済
	外気冷房		実施済
	熱源設備 冷却水温度の適正管理		実施済
	熱源設備 冷却水の水質管理		実施済
	冷温水ポンプの回転数制御、自動流量制御		実施済
	デマンド管理		実施済
	負荷平準化		実施済
その他の対策の実施状況	項目	具体的な取組内容	実施状況